

学びのホームグラウンド じんけん楽習塾



2013年
5月29日号
NO 1号

♪じんけんワンだふる&
ニャンだふる♪



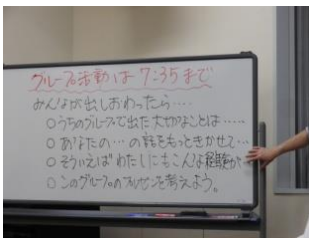
OYA OYA 通信

第1回 5月15日の報告
「しきじから考える人権教育」
森 実さん
(大阪教育大学・じんけん楽習塾)

今年度1回目の森実さんの楽習は、「しきじ」がテーマでした。参加者は25名。

最初の質問「私にとっての文字、言葉とは〇〇である。(その心は)△△△です。」を考えるにあたって、この春、JICAの研修で来られていたウガンダの方の話しが印象的でした。

ものすごく感動していることを相手に伝えたいときに、英語で話さなければならなかったら、その言葉を知らなかったら、気持ちは相手に伝わるのか？識字で文字を初めて学んだ人が、「夕焼けがきれい」と知った、などの話題を聞きながら、自分たちの問いを書き、グループになって発表しました。

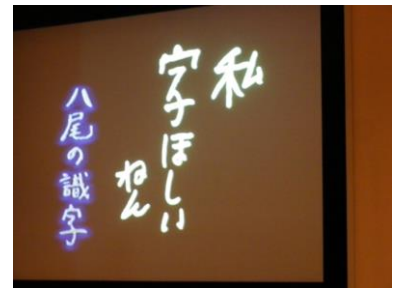


【発表内容】

・つながる道具・人と人を結びつける・言葉は成長の記録・ウルトラマン・ロチャック・奪われたもの・自分を表現するもの・相手を知る手段・言葉だけでは・時代ではないか(時、場所が変わる)・とり返しが見つからない・“ゴメン”も言葉・方言・年代・文字=芸術的感性、絵・書

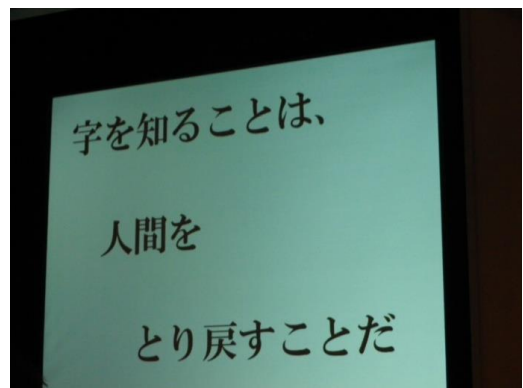
きことば・ウソ・子どもの言葉がきけるもの・ことばは生きるための手段・書き言葉だからこそ深まる・ことばは自己表現・人を生かしたり殺したりする・幸福と不幸の隣り合わせ

休憩後、八尾市教育委員会が1990年国際識字年にあわせて作成した八尾の識字学級のビデオを観ました。



出演者のなかに、知っている先生や学習者の若い頃をなつかしんだり、「識字」は知識を得るだけでなく、みなさんの明るい表情から人を元気にしていくものであることが映像からよく伝わりました。

なぜ、「識字」ではなく「しきじ」なのでしょう？「識自」「識地」と、自分の生い立ち、日々の暮らし、自分を見つめなおす、地球を知り、地球を救うなど、いろいろな意味があり、「識字」という漢字だけにしておくのがもったいないからだそうです。





【みなさんの感想】



■「字は大事やで」「字だけは大事にしいや」「しっかり勉強しいや」地域のおばちゃんがいっつも子ども達にかけてくださる言葉です。おばちゃんは書くことが大好きだそうです。文字を獲得すること、学ぶことの喜びを教えてください。今、よみかき教室と一緒に勉強させてもらっています。私のパートナーはベトナムの方です。仕事もきつく忙しい中とても熱心です。私のことを“先生”と呼んで下さいますが、彼女の方こそ“先生”です。教室にはいろんな方が通ってらしてたくさんたくさんおしゃべりして…心のホッとさせる教室です。出会えてよかったなーと思っています。

■私にとって言葉はお手玉です。自分の気持ちや言いたいことをぴったりの言葉を使って、文章で表現できているときは、お手玉を8個ぐらい空中で変化自在に操っている気分になります。うまい表現を使えたなあと思ったときは、器械体操で回転技と着地がばっちり決まったような爽快な気分になります。小さいときに友だちにいじめられていた頃、近所の習字の教室で初めてひらがなを覚えて書けるようになってから、自分の気持ちを表現したり整理したりすることが、だんだんできるようになりました。あの5才の11月から言葉は、自分にとっての力です。言葉で嫌なことをはね返す時もあり、言葉で人を楽しませてうれしくなることもあります。人は気持ちがあふれてくると ことばで表現して伝えたいくなるのかな。

お手玉と 言うのは少し 傲慢か？

■映画にでてきた「文字は財産」というフレーズが私の中でとても印象に残りました。小学生の頃に通っていた塾の先生が「勉強して頭の中に入れたものは誰にも取られへんから、大事なものは頭にいれる」とよく言われていたことを



思い出し、識字学級の人々の「財産」というフレーズの意味の深さを痛感しました。自分がこれから教育に携っていく上でとても良い勉強になりました。ありがとうございました。

■字を知っていることをあたりまえではなく、しっかり忘れないでおきたいです。うまく言えないけど、一つ一つしっかり感じられる人でありたいと思います。

■たくさんの違った職種の方々と同じテーマについて話し合うことがなかったので、とても良い経験になった。また、同じような意見が出ると思っていたが、私の頭では考えつかなかったこともたくさん出てきて驚いた。

■識字について知らなかったことをたくさん知れた。私は日本で生まれ、日本人として生きてきたので、こんなふうに字があたりまえに書けると思っていた。しかし、教員になるにあたり、様々な国の教育を学んで、字が書けない、学びの環境がないことを知り、自分の恵まれた環境に気づいた。しかし、今回はちがう理由で字が書けない方の状況を知った。英語も言語で字も教えています。英語教員としての言葉を教える大切さが増しました。

■映像の中で、識字の学習に参加している男性が少ないと思った。映像に映りたくなかった、男性は読み書きできる、女性の参加率の高いところに来れない、などどんな理由なのか知りたかった。もし、字が、女性より読めたり書けたりするなら、女性が子どもの頃、学業をすることの難しさもみえるし、女性の参加率が多いところに来れないとしたら、男性が持つ男役割のジェンダーバイアスもかかっているのかな、など穿った見方をしてしまった。レジュメの項目「日本語がうまくなっても日本人の友だちが増えない」「課題は日本社会側にある」は、現在の政治状況下でどんな課題があるのかとても知りたかった。

